

東堂陽一 議会便り 第6号 (1-6)

市内①
桜木①

平成17年 1月 1日発行

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。昨年があっという間の一年でした。時間の経つのがますます早く感じられます。新年にあたり、昨年を反省し、新たな気持ちで、気を引き締めて活動してまいりたいと思っています。さて、この議会便りが発行される頃には既に、市政10大ニュースが発表されています。以下は私が投票した順位です。

I. 昨年の市政10大ニュース

- ① 新「掛川市」平成17年4月1日 誕生決定
- ② 市政50周年・生涯学習25周年、各種記念行事行われる。
- ③ 第2エコポリス造成完工、販売好調、工業出荷額県内6位
- ④ 駅前東街区市街地再開発事業計画見直し、新しい方策を調査
- ⑤ 掛川東高移転
- ⑥ 台風23号と集中豪雨(11/11~12)一部家屋浸水、富部で時間雨量78mm
- ⑦ 日坂バイパス全線開通と道の駅起工
- ⑧ 市民総代会システム25年のあゆみ
- ⑨ NHK大河ドラマ「功名が辻」(山内一豊の妻) 2006年放映決定
- ⑩ 健康長寿者表彰式 42人表彰(さんりーな)



市政50周年屋台パレード(4月2日)



一豊公&千代様サミット(10月2日)



II. 市政トピックス

1. 12月議会終わる(12月1日~24日)

「10,253万円の増額補正予算」を始めとして、請願、陳情等を含む27件の議案等の審議を行いました。議案の大半は合併に伴う条例の事務的変更でした。

・「一般会計補正予算」の内訳は、

人件費減	△3,070万円
道の駅整備事業費増	4,475万円
老朽溜池等整備事業費減	△3,705万円
駅前東街区再開発事業費補助金皆減	△16,020万円
消防合併準備経費追加	3,900万円
土木災害復旧費増	2,130万円
等です。	

2. 新市市長選

新市の市長選については、戸塚進也氏がすでに立候補を表明しています。現時点(12月21日)では態度を保留している榛村現市長も24日には立候補を表明するものと思われます。更にあと1人か2人の立候補があるかもしれません。

さて、新市の市長の条件は何でしょうか？現在の掛川市(あるいは、ほとんどの地方自治体)の置かれている状況(三位一体の改革、右肩下がりの状況、少子高齢化等)を考えたとき、新市長に求められるものは、

- ① 経営センス
- ② 実力(アイデアと実行力とそれを補う人脈)
- ③ 大東町、大須賀町からも信頼される人(合併成功のため是非必要)

だと考えています。市会議員として、この3条件にかなう人を応援してまいりたいと思います。

◆うら面もあります◆

II. 市政トピックス(つづき)

◆前のページの続きです◆

3. 市民要望

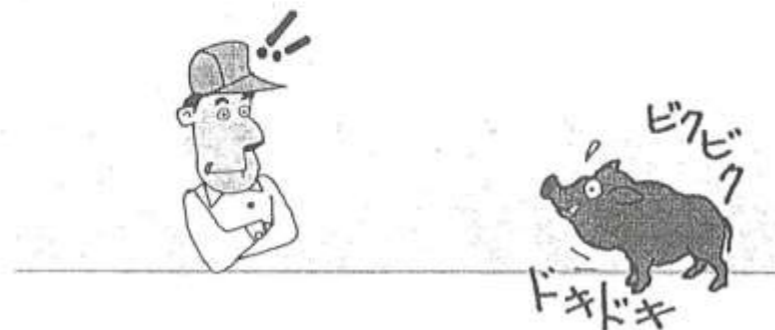
住民の方からいろいろな要望や相談を受けますが、市議員になってから今までの要望・相談事項のトップ3は、

- ① 道路に関する事。
- ② 高齢者の交通手段の確保(バスなど)
- ③ イノシシ被害

です。①に関しては解決したのも、そうでないものも有りますが、②、③を含めていずれも難問です。高齢者の交通手段の確保、端的に言えばバスを走らせて欲しいというのですが、現在どういう方法が考えられるか勉強中です。名古屋で「市民が創る地域の交通」という会議(勉強会)がありました。各地の先進事例も学びながらの会議でしたが、掛川市でどう実現できるかこれからの検討課題です。

イノシシの被害も深刻ですが、有効な対策が無いのが現状です。インターネットでこの問題を調べてみると、実に全国的な問題であるかが分かります。地方によっては随分昔からの問題であるということも知りました。ただ残念ながら、どの記事も解決に役立つほどのものは有りませんでした。山口県農林部の発行した「いのしし対策の手引き」という小冊子が面白そうだったので、取り寄せてみましたが、、、。

これら以外にも多岐にわたる要望・相談がありました。思わぬところから、思わぬ相談を受けることも有ります。なぜ私の所へ相談に来たのか不思議に思ったことがあり尋ねたら、議会での一般質問を聞いてのことだということでした。議員としての発言の責任を感じた瞬間でした。



III. 今後取り組んでいきたいこと

2町との合併やより良い地域づくりはもちろんのこと、

- ① 少子高齢化
 - ② 教育・道徳
 - ③ 環境問題
 - ④ 経済・雇用
- などを意識して取り組んでまいりたいと思います。

IV. 雑感

かもとさぎ

かもとさぎと言っても、今はやりのおれおれ詐欺のことではありません。早朝、家代川の白泉寺橋付近で遊ぶ鴨の群れを見ました。垂木川や二つ池では良く見かけるようになり、それほど奇異には感じなくなりましたが、住宅地に隣接していて、しかも川幅の非常に狭いところにたむろしている姿には違和感を覚えました。しかもそのすぐ横の岸辺には、大きなさぎがじっと立っていました。田んぼの中にもたくさんのさぎがいますし、川鶺がいることもあります。

鳥がたくさんいるのは一見平穏なようにも思えますが、今まであまり見かけることのなかった大きな鳥が身近にたくさんいるのは、気持ちが良いものではありません。12月というのに暖か過ぎるし、ますます身の回りの環境に変化が起こっているのを感じます。

地球規模の環境汚染も身近なゴミの散乱も同じ人間の所作であり、知恵とモラルで防がなくてはなりません。法律や規則による規制も場合によっては有効ですが、一人一人が真剣に取り組める仕組みづくりが更に必要です。

V. 終わりに

11月の終わりに大恩のある方が亡くなりました。その方によく注意されたことは、「横文字を使うな」「誰にでも分かるように簡単にしなさい」ということでした。簡単なようで難しいことだということを毎回痛感しています。読みやすい紙面になるように努めてまいります。ご意見等ありましたらお気軽にどうぞ。

それでは本年もよろしくお願いたします。